

がんばれ 能登! がんばれ 日本!

みなさまと デジタルドルフィンズをつなぐ 手づくり情報誌



月1回
お届けする
ラブレター♪



IT&教育事業部と、
デジタルドルフィンズ
応援団長のよしこちゃん
合作の新聞!

ありがとう新聞 Vol.230

2026年
3月号

デジタルドルフィンズ誕生以前の物語 ～第2回 一台のオフコンから始まった挑戦～

2003年、弊社が開発した情報管理システム「デジタルドルフィンズ」が誕生しました。それから丸23年。現在では、製造業・サービス業・教育・行政など幅広い分野において、一部上場企業から中堅・中小企業まで、240社の皆さまにご導入いただき、日々の現場で活用され続けています。

AIやIoTといった技術革新が急速に進む時代の中で、デジタルドルフィンズはこれからどのような進化を遂げていくのか。そして、「何が正解だったのか」を語れるのは、きっともう少し先のこと…。だからこそ今、その誕生の原点と歩みを、数回に分けて振り返っています。[<→第1回はこちらをクリック>](#)



1990年当時の弊社オフィスの様子

～働き方に革新を起こす～

デジタルドルフィンズ
デジタルドルフィンズで実現する経営革新は
[こちらをクリックしてご覧ください](#)

①1983年4月。社内に一台の機械が運び込まれました。それは、**FACOM 9450-II (PANAFACOM C-280)**。手書きが当たり前だった事務の世界に、静かに、しかし確実な変化をもたらす存在でした。最初に着手したのは、販売管理の仕組みづくりでした。売上入力、入金入力、納品書・請求書の発行、売掛管理、月次繰越処理。当時の業務の流れを一つひとつ確認しながら、“枚岡方式”に基づき、現場で使える形にプログラムを組んでいきました。ペンと伝票に支えられていた仕事が、少しずつ機械へと置き換わっていく…。それは「**効率化**」という言葉以上に、**仕事の未来が動き出す瞬間**でした。こうして、弊社のオフィス・オートメーションは、静かに走り始めたのです。

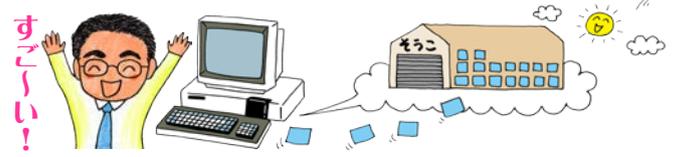


③「ないなら、作ればいい」。売上管理で得たノウハウと、講習で身につけた技法を総動員し、仕入入力、支払入力、買掛台帳、支払予定表、各種帳票出力を備えた仕入管理プログラムを、自ら開発しました。さらに、在庫管理、決算棚卸処理、そして、母が手書きで行っていた給与計算や年末調整のプログラムまで手がけ、実務で使いながら、何度も手直しを重ねていきました。



②やがて、ある疑問が芽生えました。「この仕組みは、いったい何でできているのだろうか?」調べていくうちに、このシステムが、BASIC や COBOL でなければ難しかった事務処理を、表形式で扱い、入力画面を自由に作り変え、データを参照し、転記することを、**驚くほど少ない労力で実現する世界初の簡易データベース『EPOACE』によって構築されている**ことを知りました。その仕組みを知りたくて、ノートを開き、実行プログラムを一行ずつ、すべて書き写していきました。理解したい一心で、ただひたすらに…。同時に、基礎から学ぶため、富士通様が開催していた「EPOACE」初級・中級・上級(各2日間)の講習会にも通いました。簡単な練習問題から始まり、少しずつ形になるプログラム。学びは、日々の業務と直結していたからこそ、驚くほどの速さで身につけていきました。中級・上級クラスになる頃には、他の受講者の質問に答えるサポート役も務めさせていたようになっていました。しかし、当時のオフコンには一つの限界がありました。それは、**販売管理はできて、仕入管理ができなかったこと**です。

④その過程で、忘れられない気づきがありました。一度入力したデータが、取引先ごとや用途ごとに自動で転記され、積み上がっていく…。それは、まるでデータが立体的に保管され、必要な場所へ次々と運ばれていく「**仮想の自動倉庫**」を手に入れたような感覚でした。一度だけの入力動作が、自動で何度も動く。その仕組みが、業務スピードと正確さを、劇的に変えていったのです! こうして、オフコン黎明期において、基幹業務を外注に頼ることなく、常に現場で考え、試し、直しながら、社内ですべての独自のシステムがどんどん形になっていきました。この時の経験と感動こそが、やがて誕生する「デジタルドルフィンズ」の全体的な思想や詳細設計の思想を、静かに、そして確かに支える“原風景”になっていたのです…。<つづく>



デジタルドルフィンズ(D.D.)展示会のお知らせ

【名古屋】**ものづくりワールド**
2026年4月8日(水)～4月10日(金)
[ポートメッセ なごや](#)にて開催

【大阪】**スマート工場 EXPO**
2026年5月13日(水)～5月15日(金)
[インテックス大阪](#)にて開催

この春も元気に
出展します!

発行責任者: 枚岡合金工具株式会社
教育事業部 古芝 保治
<https://digitaldolphins.jp/>

編集者: よしこちゃんの紹介(ブログ)
<https://www.voluntary.jp/weblog/myblog/43837>

アクセッス
してネ〜!